

11月8日は、<いい歯の日>
歯周病を予防して8020を目指そう！
サンスターが取り組む啓発活動について

2003-4号

25歳以上の日本人の約80%は歯周病に罹患しているというデータからわかるように歯周病はまさに国民的な健康課題といえます。世界一の長寿国日本にあって、健康で快適な生活を送るためには、まず何よりも毎日の食事をおいしく楽しく食べることが重要です。そのためにも健康な歯は欠かせません。

歯周病を予防するためには、私たち一人一人の予防活動の実践は勿論のこと、厚生労働省や歯科医師会を中心とした社会的取り組みも重要な要素の一つです。サンスターでは、これらの取り組みを支援するためのさまざまな啓発活動を行っています。

—目次—

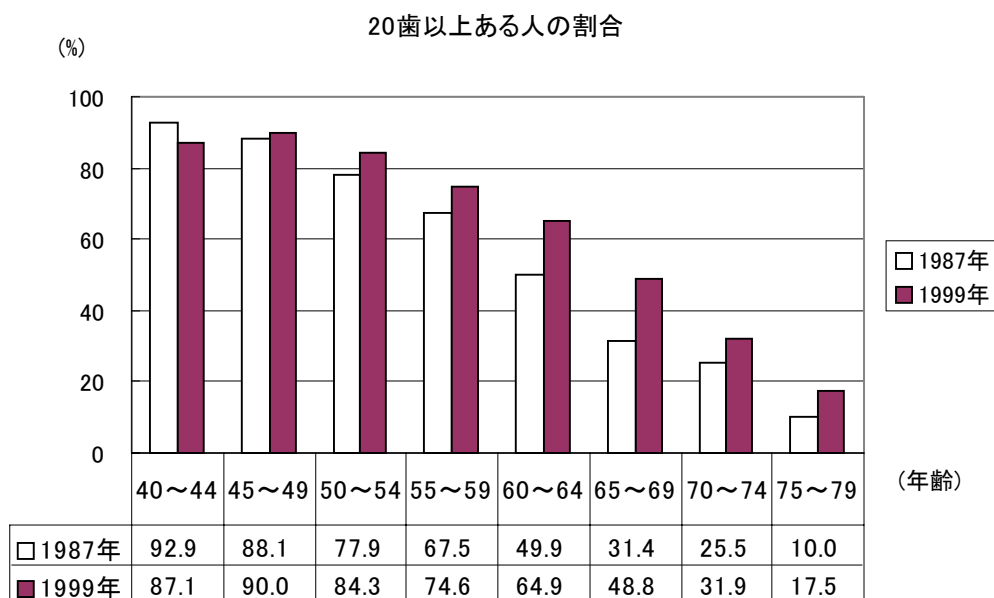
- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 8020達成は夢ではない | P2 |
| 2. 健康日本21への支援 | P3 |
| 3. 目標達成へ向けて—
歯の健康推進の3層構造 | P4 |
| 4. サンスターが取り組む啓発活動 | P5～6 |

1. 8020達成は夢ではない

食生活を豊かにし、楽しい会話や若々しい表情で活力ある社会生活を送るためには、80歳で20本以上の歯が必要とされています。厚生労働省では1992年から日本歯科医師会と共同で「8020（ハチマルニイマル）運動」、すなわち80歳になっても自分の歯を20本以上保とうという運動を推進、歯の健康づくりの大切さを積極的に呼びかけています。

2002年12月には、8020運動を一人でも多くの方に知っていただく活動を行うための8020推進財団も設立され、歯科医師会を中心に歯科関連・健康関連の企業や個人が参加し、広報活動などを展開しています。サンスターは、8020推進財団の会員としてこの活動に積極的に関わっています。

8020運動が提唱されてから早くも10年が過ぎましたが、その間、20歯以上ある人の割合は着実に増えています。1999年の厚生労働省歯科疾患実態調査によると、80歳代で20歯以上ある人の割合は9.9%ですから、まだまだ目標にはほど遠い感じがしますが、1987年の調査と比較すると40歳代後半からの割合は確実に上がっています。特に60代では20ポイント近くも上がっており、人々の間に歯の健康意識が浸透しつつあり、8020という目標も決して夢ではなくなっているようです。



(1999年 厚生労働省歯科疾患実態調査)

2. 健康日本21への支援

厚生労働省では、2000年3月から生活習慣を改善して健康を増進し、生活習慣病などの発病を予防する「一次予防」対策を推進して、すべての国民の「健康寿命」を延ばすことを目的とした「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」を策定しています。

健康日本21では、健康寿命の延伸に向け2010年度をめざして9分野70項目の具体的な目標を提示しています。その9分野の一つ「歯の健康」の目標は、歯の喪失防止の目標値を示すとともに、歯周病の予防対策として歯と歯の間の歯垢をきれいに取り除く歯間クリーナー（歯間ブラシやデンタルフロスなど）の使用を勧めています。

<成人の歯の健康に関する主な目標値>

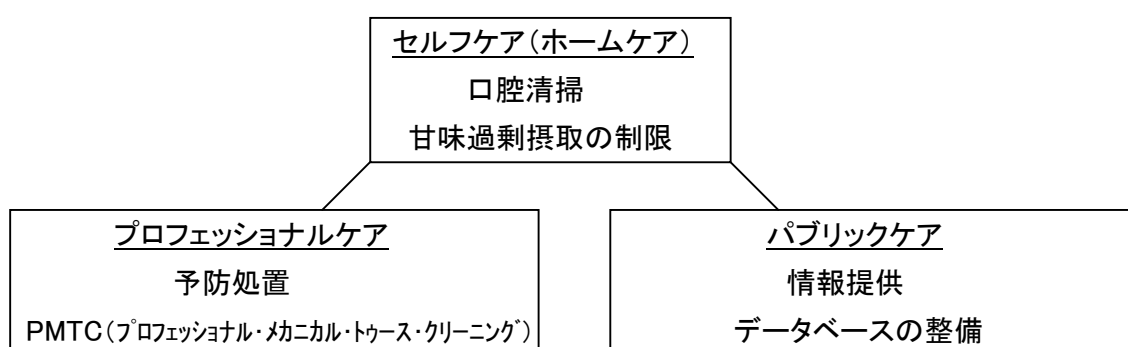
- | | |
|-------------------------|-----------------|
| ●80歳で20本以上自分の歯を有する人 | 20%以上（現状は11.5%） |
| ●60歳で24本以上自分の歯を有する人 | 50%以上（現状は44.1%） |
| ●定期的に歯科健診を受けている人 | 30%以上（現状は16.4%） |
| ●40歳で進行した歯周炎になっていない人 | 78%以上（現状は68%） |
| ●50歳で進行した歯周炎になっていない人 | 67%以上（現状は53.1%） |
| ●40,50歳で歯間クリーナーを使用している人 | 50%以上（現状は18.5%） |

サンスターは、健康日本21の考え方に賛同し、健康日本21を産業界から支援する「健康日本21推進フォーラム」に会員企業として参加しています。参加企業として、歯の健康を中心に9つの分野を総合的にとらえ、全身の健康増進に役立つ啓発活動・商品開発を行っていきたいと考えています。

3. 目標達成へ向けて——歯の健康推進の3層構造

8020 運動や健康日本 21 を中心に国や地域で、歯の健康に対する啓発・指導・教育・対策が行われ、一人ひとりの行動をバックアップする方策が次々とうちだされています（パブリックケア）。しかし、社会的なバックアップがあっても、自分の健康を守るのは自己管理、自助努力次第です（セルフケア）。そして、その自助努力を効率よく効果的にするためには歯科医や歯科衛生士によるケアが必要です（プロフェッショナルケア）。

8020 や健康日本 21 の目標を達成するためには、これら 3 層構造になっている 3 つのケアが効果的に連動し、それぞれの役割を果たす必要があります。



(1) セルフケア（ホームケア）

歯周病やムシ歯は、適切なブラッシングなどの習慣を維持することによって予防できる生活習慣病の一つとされています。そのため、歯周病やムシ歯を予防するために重要な役割を果たすのは的確なブラッシングに加え甘味飲食物の制限や喫煙などの生活習慣の管理をはじめとした、セルフケア（自己管理）、ホームケア（家庭内管理）です。

(2) プロフェッショナルケア

歯周病やムシ歯の原因となる歯垢の除去は、歯の形態や歯並びの状況などから、セルフケアだけで完全に行うことは困難です。そのため、歯周病やムシ歯を予防し、実際に歯の喪失防止に結びつけるためには、自己管理に加えて、専門家によるケア（プロフェッショナルケア）を行うことが重要です。

(3) パブリックケア

歯科疾患は、地域格差が大きいいため、ライフステージ毎の歯周病やムシ歯の状況や現時点での残存歯数などについての地域別の情報を収集、評価管理していく必要があります。そのためには保健所が市町村との連携のもとに、地域の歯科保健情報の収集、管理に中核的な役割を果たしていくことが求められます。

4. サンスターが取り組む啓発活動

(1) プロフェッショナルケアとセルフケアの橋渡し役として

サンスターでは、人々の歯の健康に対する意識を治療から予防へと導き、歯科医院と生活者の距離を縮めることを目的に、各地域の歯科医師会と連動した取り組みを行っています。特に最近では、歯科医院への来院を促進するための提案を積極的に行っています。

パンフレット「デンタルスマイル」の作成

「デンタルスマイル」は、埼玉県歯科医師会と協力して作成したパンフレットで、セルフケア・プロケアに関する情報を盛り込みながら、次回健診の来院を促進することができ、大変好評を得ています。

各地歯科医師会のイベント協力

各地の歯科医師会が主催して行われるイベントに協力し、サンスター版オーラルケア劇「ミッフィーとうたおう！」を上演するなど、子ども達が楽しみながらオーラルケアに興味を持ってもらえるような取り組みを行っています。



(2) 学会協賛や会議の主催などプロフェッショナルへの支援

サンスターでは、世界最新の歯周病研究、特に全身の健康と歯周病に関連する世界中の研究を支援しています。

日本企業唯一の公式スポンサー

サンスターは、3年に一度共同学会が開催されるアメリカ歯周病学会(American Academy of Periodontology : 以下 AAP) 併催日本歯周病学会で、「AAP」と「AAP Foundation」に対する日本の企業としては唯一の公式スポンサーとして協力しています。また、グループ企業であるジョン・オー・バトラーカンパニーも公式スポンサーとなっており、サンスターグループを挙げて歯周病の研究を支援しています。

アメリカ歯周病学会名誉会員

本年 9 月に開催されたアメリカ歯周病学会（AAP）総会では、サンスターが長年行ってきた歯周病の予防・治療のみならず、歯周病と全身の健康の関わりに関する啓発活動の実践と成果が評価され、サンスター社代表取締役会長金田博夫がアメリカ歯周病学会の名誉会員に選出されました。

(財)サンスター歯科保健振興財団による国際会議の主催

(財)サンスター歯科保健振興財団の活動として、昨年 12 月には、ジュネーブにおいて「お口の健康と全身の健康に関する専門家会議」を主催しました。この会議は、医科と歯科の専門家、WHO（世界保健機関）と NGO（非政府組織）の代表が集った最初の国際会議であり、口腔保健と全身の健康の関連について討議されました。

さらに、サンスター歯科保健振興財団では、創立 25 周年を記念し「歯周病と全身の状態との相関関係」をテーマにした研究論文を全世界から募集し、本年 6 月にはドイツ・ベルリンで授賞論文の発表・授賞式を行いました。

(3)生活者への情報発信

サンスターでは、商品や店頭を通じた生活者への情報発信はもとより、シンポジウムへの取材・協賛やインターネットによる情報発信に努めています。

「世界口腔保健学術大会記念口腔保健シンポジウム」への協賛

日本歯科医師会が主催し、毎年 7 月 10 日に行われる「世界口腔保健学術大会記念口腔保健シンポジウム」への協賛は本年で 10 年目を迎えました。このシンポジウムでは、生活者のみなさまへ最新のオーラルケア情報を発信しています。

インターネットホームページからの情報発信

サンスターのホームページでは、オーラルケア情報を積極的に発信しています。最近では、岡山大学名誉教授村山洋二先生監修による「教えて歯周病」やオーラルケア用品の効果的な使い方を紹介する「How to オーラルケア」などが加わり、よりわかりやすく充実した情報発信になりました。ぜひ、ご覧ください。

サンスターホームページアドレス <http://www.sunstar.com>

このニュースレターに関するお問い合わせ先

サンスター株式会社 広報室

本社	〒569-1195 大阪府高槻市朝日町3-1 TEL072-628-6212 FAX072-682-7917
東京オフィス	〒108-0073 東京都港区三田1-3-36 TEL03-5443-2805 FAX03-5443-2145